

白紋羽病の温水治療マニュアル

白紋羽病に罹病したナシ、リンゴおよびブドウについて、樹の周辺土壌の表面に 50℃の温水を点滴して病原菌を殺菌することにより、罹病樹を効率的に治療できます。技術は傾斜地にも対応できる温水治療技術マニュアルとして改訂し公開しています。

☆ 技術の概要

1. 治療対象樹を両側から挟み込むように設置する井形状の点滴器具を用いることによって設置時間が従来の約 1/4～1/3 に短縮され、平坦地で露地栽培されているナシおよびリンゴ白紋羽病罹病樹に対する温水治療が効率良く実施できるようになりました。
2. ブドウ樹は温水治療を行うに十分な熱耐性があるので、罹病樹に対して温水治療が適応できます。井形状点滴器具を用いることで、斜度約 20 度までの傾斜地においても温水治療を行うことができます。
3. 果樹の地際部に枝を挿入して病原菌を捕捉する枝挿入法により、温水治療が適応できる罹病樹を、株元を掘り上げて目視で行う従来法より約 1.4 倍効率よく判定できます。

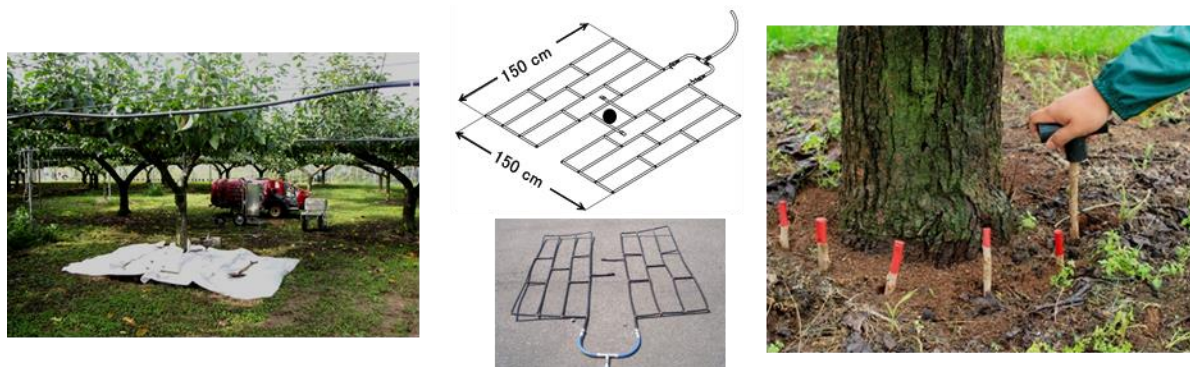


図. ナシの温水治療状況（左、保温のために器具を被覆）、井形状の点滴器具（中、黒丸は樹の位置を示す）、温水治療対象樹の判定のため枝挿入法の実施状況（右）

☆ 活用面での留意点

1. 本技術は、技術の窓 No.1791（H23. 8. 25）「環境負荷を低減できるナシ・リンゴ白紋羽病の温水治療」で紹介した従来の技術を向上させて、より効率的・効果的に治療できるようにしたものです。
2. 温水治療マニュアルは農研機構ホームページからダウンロードすることができます。
http://www.naro.affrc.go.jp/publicity_report/publication/pamphlet/tech-pamph/010793.html
 また、白紋羽病 温水治療 Q&A 集も公開していますので、合わせて参照して下さい。
http://www.naro.affrc.go.jp/publicity_report/publication/laboratory/fruit/material/054434.html
3. 詳細については、農研機構果樹茶業研究部門（電話：029-838-6416、ホームページから：<https://www.naro.affrc.go.jp/fruit/inquiry/tech.html>）にお問い合わせください。
 （果樹茶業研究部門 生産・流通研究領域 上級研究員 中村 仁）